

学校規模適正化・適正配置に関する住民説明会 実施状況をお知らせします

◇説明会の開催日・場所

【期日】平成 30 年 7 月 24 日（火）

【場所】瀬々串小学校

【参加者数】36 名

鹿児島市教育委員会では、平成 30 年 3 月に「鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」を策定しました。そこで、保護者や地域の皆様と学校の現状や認識を共有するため、各地域で説明会を開催しましたので地域ごとの状況をお知らせします。

【説明会の内容】

①基本方針の内容の説明 ②小・中学校の現状の説明 ③質疑応答・意見聴取

◇寄せられたご意見やご質問

ご意見やご質問	回答
小学校が無くならないようにしてほしい。	今後の検討にあたっては、各学校や地域の特性なども踏まえ、保護者や地域の方々と認識を共有する中で、進めていく必要があるものと考えております。
今後はどのようなスケジュールで進んでいくのか。	今後のスケジュール等につきましては、保護者や地域の方々のご意見等も踏まえながら、検討して参りたいと考えております。
小学校は地域の核であるので、仮に統合になった場合の残った学校跡地の活用などについては、教育委員会だけでなく、関係部局と共に進めてほしい。	今後の検討にあたっては、ご指摘のことも含め、検討していきたいと考えております。
適正化の検討は、必要だと感じるが、通学環境が変更になる場合は安全確保のためにもスクールバスの運行が必要だと考える。	通学環境が変更になる場合は、通学路の安全確保や負担軽減などについて、関係部局と連携しながら具体的な対策を検討していく必要があると考えますので、今後、保護者や地域の方々と検討して参りたいと考えています。
子供たちへの配慮とは、具体的にはどのようなものか。	仮に校区の変更や学校の統合を行う場合は、例えば、事前に学校行事を合同で行ったり、交流学習を実施したりして、子供が慣れ親しむための十分な準備期間を設けたいと考えております。

裏面へ続く

<p>小学校では小規模校であることはデメリットよりメリットの方が大きいのではないか。</p>	<p>小規模校や大規模校には、それぞれの良さがあります。一方で、集団の中で様々な考えに触れることで、自分の考えをさらに深めたり、社会性や協調性を身に付けたりするためには、一定の学校規模が必要であるとも考えております。</p>
<p>小規模校や大規模校のメリット・デメリットだけでなく、適正規模校のメリット・デメリットも紹介してほしい。</p>	<p>適正規模校のメリット・デメリットは、小規模校と大規模校の中間に位置しているため、双方のメリットをバランスよく持ち合わせ、デメリットも適度に解消できるものと考えております。</p>

※すべてのご意見やご質問を掲載したものではありません。ご了承ください。

子供たちのよりよい教育環境を確保するために、皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。

ご意見やご要望などがございましたら、右記までご連絡ください。また、説明会で使用した資料などは、市HPにも掲載していますので、ご覧ください。

鹿児島市教育委員会 (2018年10月作成)

〒892-0816 鹿児島市山下町6-1

鹿児島市教育委員会 総務課 企画調整係

(直通)099-227-1926 (FAX)099-222-8796

(Eメール) kysoumu@city.kagoshima.lg.jp

